



市民派・チームみらい 杉山もとのり

★12月議会では、新庁舎建設基本設計案を取り上げました。庶民が家を建てる時は建設費や維持管理費を考えながら、予算内で家を建てることを考えます。しかし新庁舎はどのような建物にするかを決めた後に、建設費を計算するので増額してしまいます。予算内に収まるのかを議論しました。

1 新庁舎は避難場所になるのか。

【答弁】長期の避難の受け入れはできません。一時的には避難スペースとして低層棟に90人程を受け入れが出来ますが、状況が安定し安全が確保できれば移動してもらいます。高層棟は受け入れしません。

2 新庁舎は眺めが良いと思われ、4階会議室を市民にも開放するべきと考える。4階会議室は市民団体が利用できるのか。

【答弁】本庁舎周辺には産業文化センターや総合福祉会館、市内にはライフデザインセンターや福祉センターなどの、夜間や休日にも利用可能な施設が充実しています。したがって、4階会議室の一般への貸し出しはしません。

3 新庁舎に市民活動支援センターを設置する予定は。また、休日のにぎわいは。

【答弁】市民活動センターを設置する予定はありません。土日祭日の休日は、低層棟のカフェは当面は休みとなります。

【杉山】低層棟は必要ないのでは。高層棟のみにするべきと考えます。エレベーターも削減でき建設費の縮減になります。



【杉山】未だに市民から新庁舎に疑問の声が上がっています。市民のための新庁舎というよりは市職員のためと言えるでしょう。建設価格上昇も心配されることから、建設価格が落ち着くまで延期するなど、計画を再検討するべきです。

4 面積は16,870㎡、現庁舎の1.6倍へ膨んだ。新庁舎をコンパクトにする考えは。

【答弁】市庁舎全体の必要な規模を20,000㎡と算定しました。産業文化センターや総合福祉会館などの活用可能な面積を差し引いて規模を14,000㎡と計算しています。16,870㎡から地下駐車場面積を差し引くと、新庁舎の規模は妥当と考えます。【杉山】産業文化センターは空きがあり無駄が多い。庁舎の有効利用でもっとコンパクトにするべきです。

5 建設費、維持管理費および、建設価格の上昇をどう見込むか。

【答弁】事業費80億円は他市の工事単価を採用して算出しました。基本設計ベースでの事業費は平成30年2月頃に判明します。維持管理費は導入する設備などが未定のため試算することは困難です。建設価格の動向は正確に予測することはできません。【杉山】岐阜市新庁舎は約15億円増額しました。

6 建設費が予測を超えた場合に、予算を増額するのか、予算内で抑えるのか。

【答弁】適正なコストで質の高い庁舎をつくるのが大切と考えます。【杉山】市は、建設費80億円を超えたら、削減して予算内に抑えるとは明言しませんでしたので、増額になる可能性は十分あると感じています。維持管理費も未だに未定で、現庁舎の1.6倍の面積になれば維持管理費も心配になります。

市民派・チームみらい 古川あけみ



一般質問に向けて、多くの人に会い声を聞き準備をしました。原稿を読んで練習していると、息子が「ファイト！外野気にするなよ！」と声かけてくれた。9月議会を傍聴した息子は、よき理解者。「もう、あそこには行きたくない。」と言っていました。【杉山】「いつかまた来てね」と言える議会となるよう頑張ります。

※日々の思いをブログに綴っています。「なないろ通信 古川あけみ」← 検索

各務原市文化会館の指定管理について

各務原市の文化ホール・市民会館の新たな指定管理者が決定しました。今までの文化会館は、年に数回の自主事業を行い、後は貸館のイメージでした。そこで可見市文化創造センターalaを視察し館長のお話を伺い、文化会館のあり方について考えました。

●古川質問

地域の文化振興の中で、特に重要な役割を担う文化会館の役割について、市としてどう考え、管理者に何を求めるか。

○市の答弁(産業活力部参与)

気軽に芸術文化に親しみ、質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供。市民協働による事業の積極的な実施を通じて市民の主体的な活動の拠点となることが文化会館の役割と考え、適切に管理し有効活用を管理者に求める。

●古川質問

文化事業を文化振興事業団のように独立した組織に委ねる考えはないのか。

○市の答弁(産業活力部参与)

文化事業を独立した組織で扱う場合、短絡的な採算性を重視した事業や得意な分野に偏ってしまう恐れもあります。したがって、本市では「文化事業」に特化した組織に委ねるのではなく、多様な分野を扱う行政の強みを活かし、各分野との連携を図りながら取り組んでまいります。

◆古川の考え

市の直営、民間の指定管理、外郭団体の指定管理、どちらにしても大切なのは管理者に文化への思いがあるかどうか。文化会館には、自己肯定感を育む予防社会政策の可能性と役割があると考えます。各務原市の文化振興のあり方は、出来たばかりですが、社会の現状をしっかりと見据えた事業展開は見えてきません。単なるハコとならないためにも今後は、社会包摂型の考えも視野に入れ柔軟に進化する必要性があります。

航空宇宙博物館の指定管理について

岐阜県と共同管理となり6月に設立された一般社団法人岐阜かかみがはら航空宇宙博物館が指定管理となります。

市の直営と違い専門性の高い財団法人を指定管理とするメリットは。

○市の答弁(産業活力部参与)

財団の役員は、航空や宇宙分野の専門家、教育・研究機関、商工・観光団体などの有識者で構成されており、それぞれの分野から専門的知見を博物館の運営に生かすことができるものと考えております。

◆古川の考え

文化施設にしても航空宇宙博物館にしても人の思い失くしては成り立たない公共施設です。思いがある専門組織に委ねることが有効と考えます。

ホッケー女子アジアカップについて

ホッケー王国各務原として推進体制の強化を市としてどう取り組んだのか？500万円の予算の有効性は果たせたと感じるのか？

○市の答弁(教育委員会事務局長)

広報紙やウェブサイトにて、より多くの市民の目に触れるよう、大会を支援した。予算の有効性につきましては、各出場国の選手役員からも、友好も深まったと絶賛され「ホッケー王国かかみがはら」として市の知名度・好感度を上げる効果もあったと考えている。

◆古川の考え

ホッケーの推進体制強のためには予算が必要です。予算確保の理解を得るためには、すそ野を広げることがなにより大切です。子ども達を大いに巻き込み、市としてできるバックアップを考えていかなければいけません。中途半端な側面支援で終わってしまっは、ますます理解者を失ってしまいます。